

パーソナルカラーとは？

色には、共通の感情を伝える力があります。そうした色の持つ効果で、人の印象は大きく左右されます。

その人の魅力を最大限にひきたたせてくれる色、それが「パーソナルカラー」です。

人には「好きな色」がありますが、その色が必ずしもその人に「似合う色」、つまり「パーソナルカラー」とは限りません。人によって異なる肌の色、目の色、髪の色、これらにはオリジナルの色調があり、この色調と調和する色彩が「似合う色」です。自分の「パーソナルカラー」を知っておくと、仕事や対人間関係での様々なシーンで、自分が伝えたいイメージを印象づけることができます。

パーソナルカラーの診断方法

通常は色の布を顔の側にあてて似合う色を見つけしていきます。「似合う色」というのは、自分自身が生き生きと輝いて見える色のことであり、よりあなたらしく、よりあなたの個性を引き出して魅力的に見せてくれる色のことです。

「似合う色」は3つのポイントからつけていきます。

1つ目は色相（黄み・青み）、2つ目は明暗、3つ目は清濁で、これらがより良い効果をもたらしてくれる要素を絞り込んで、「似合う色」=「パーソナルカラー」を見つけます。

色を味方にしてよりイメージアップしましょう。



パーソナルカラー 4分類の特徴

春の人

イエローベース／明るめの色／透明感のある色

若々しくキュートな印象を演出してくれます

お肌にハリ感と透明感を出し生き生きとした表情になります

明るくてカラフルな色が似合います

本人の好き嫌いを問わず、派手な色をチャームに着こなします

明るく透明感のある色は春の人を一層ひきたたせてくれます

濁りの強い色、黄みが強い色、地味な色は苦手です



秋の人

イエローベース／暗めの色／濁り感のある色

都会的でシックな印象を演出してくれます

お肌の色や質感はゴージャスで滑らかに見えます

深みのある複雑な色が似合います

濁り間のある落ち着いた色、一見地味な色を華やかに着こなします

落ち着いた色は秋の人を大人っぽく知的にお洒落に見せてくれます

強い色、明るすぎる色には弱く、色に負けてしまいます



夏の人

ブルーベース／明るめの色／濁り感のある色

エレガントで女らしい印象を演出してくれます

お肌の色が白くなめらかに見えます

ソフトで涼し気な色が似合います

明る過ぎず暗過ぎない濁った色エレガントにシックに着こなす

少しあせたような色は夏の人に特別のオーラをだしてくれます

コントラストの強い色は苦手です



冬の人

ブルーベース／明るめ・暗めの色／透明感のある色

個性的で存在感のある印象を演出してくれます

お肌に強さが感じられる色みとツヤが増えて見えます

鮮やかで強い色が似合います

コントラストの強い鮮やかな色をシャープにモダンに着こなします

強い色やカラフルな色は冬の人の美しさをより引き出してくれます

濁った色は苦手です

